

本部だより

●第 38号



マーシャル方面遺族会

<http://mibfa1926.com>



携帯サイト

●発行日:平成 30年 8月 1日 ●発行人:高林 芳夫
●本部:181-0012 東京都三鷹市上連雀 8-7-8
●電話 & FAX:0422-77-8557 ●編集人:鈴木千春



慰霊祭当日の靖国神社

平成30年度
慰霊祭、総会報告
高林芳夫

4月1日、快晴のもと、全国から85名の遺族が靖国神社に集まりました。靖国神社の桜の花は満開の時期を少し過ぎましたが、丁度花吹雪が舞って春爛漫、暖かく気持ちよい時節でした。

例年は10時に昇殿参拝でしたが、今年は神社の行事があり12時からとなりましたので、昇殿参拝の前に総会・集合写真という進行にいたしました。

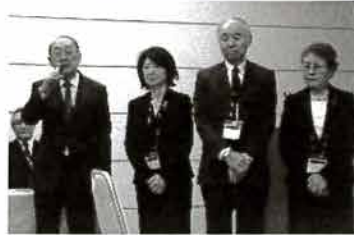
総会の前に、「靖国神社創立百五十年記念奉賛金贈呈式」を行いました。

3月に新しく御就任された小堀邦夫宮司が立会う予定でしたが行事のため、山本眞吾総務部長がお越し下さいました。当会名誉会長の朝香誠彦様より山本様へ奉賛金の贈呈、そして山本様より当会への感謝状・記念品の贈呈と感謝のご挨拶を頂きました。その中で「過去には沢山の遺族会が慰霊祭を行っていましたが、近年は遺族会の数が減少して慰霊祭も少なくなっています。そんな中マーシャル

方面遺族会は55年もの長きに亘り慰霊祭を続けてこられ、とても貴重で珍しい存在です。これからも遺族会を続けて下さい、との励ましのお言葉を頂戴いたしました。



贈呈式



朝香様、大給様ご夫妻

■ 定期総会

議長に山口良二氏を選出し、総会が始まりました。会長挨拶に続き、朝香誠彦様にご挨拶頂きました。幼少時にお住まいだった旧朝香宮邸は東京都庭園美術館として一般に公開されています。

(建物公開「旧朝香宮邸物語」は6月12

日まで)

次に大給乗龍様にご挨拶を頂きました。お母様の大給湛子様は、99歳になられ、ご子息の顔は忘れたそうですが、お元気にお暮しとのことです。

総会では、平成29年度の会務報告、および会計報告がなされ、会計監査の報告ののち、今年度の行事予定を発表いたしました。また、故黒川元会長のご長女・福永弥生様の挨拶に続き、新役員のご紹介として、愛媛県の山村一郎様、宮城県の佐藤勉様にご挨拶頂きました。

続いて、今年3月に日本遺族会主催の遺児による現地慰霊があり、全国からの参加者のうち、当会より6名が参加しました。その時の様子を岡村勝利様・石澤洋子様・佐藤知子様にご報告頂きました。

交通の混雑で少し遅れてこられた安細和彦様にもご挨拶頂きました。在マニシヤル共和国特命全権大使時代の貴重なお話を伺う事が出来ました。

最後に事務局から、当会のホームページのリニューアル報告をいたしました。皆様、有効にご活用ください。



安細様ご夫妻



石澤様



福永様、久川様



山村様



当日の会場



佐藤様



岡村様



佐藤様

総会を終え、全員で集合写真を撮影し、12時に昇殿参拝をいたしました。

山の幸・海の幸の供物を奉奠、神職による祝詞奏上、朝香誠彦様の祭文奏上、代表者による玉串奉奠に合せ、二礼二拍手一礼の作法にて全員で拝礼。慰霊祭は滞りなく終了いたしました。

直会旅行の参加者は伊豆箱根周遊へと出発致しました。

■慰霊祭出席者 順不同（敬称略）

名誉会長 朝香誠彦 朝香貴子 相談役
大給乗龍 大給三枝子 篤志会員 安細和彦 安細菊乃 東京都 福永弥生・久川直美・内海淑子・鈴木千春・山口良二・間々田征史・間々田邦子・中村秀夫・中村順子・中村貴巳子・米林義昭・米林美智子・居戸和由貴・山田二美・井上賀彦 千葉県 沖中晃子・雛形明美・埼玉県 佐藤知子・小室洋子・大井和子・小松順子・小田原豊・小田原真由美・小田原由樹・小田原靖・眞鍋信一・眞鍋公代・鈴木裕子・高林芳夫・高林正

子・齊藤玲子・齊藤百香・齊藤好香・齊藤幸生・長屋政喜・長屋綾子・長屋ゆり子・長屋裕太・波頭友子・波頭 孝・波頭慈英・佐藤 誠・佐藤亜紀・佐藤優希菜・佐藤奏多・佐藤尚多 神奈川県 石澤洋子・清水雅尚・鈴木友季子・安威和子・服部政久・池田 浩・池田尉子・松江孝枝・松江理沙子・松江理菜子 青森県 須藤明子・岩手県 佐藤亨三 宮城県 佐藤 勉・安藤としえ・山形県 長岡昭子・葛西 勉・葛西裕子 栃木県 岡村勝利 新潟県 山田昭雄・山田摩希子 石川県 河崎仁衛 岐阜県 吉田正明 愛媛県 山村一郎・渡部 守・渡部幸典・渡部一力・渡部貴裕・白方勝彦 香川県 金森越哉・金森佳子 福岡県 平田郁子・石松順子 ゲスト 大川史織 以上85名

※事務処理上、今後、同伴ご家族様名は会員の方がお住まいの都道府県に表記いたします。ご了承ください。



第55回慰霊祭に参加して

葛西 勉（山形県鶴岡市）

我が家の家系図を作っているとき、私の曾祖父が再婚を機に北海道に渡り、その子と孫が共に戦死していることを知りました。調べても厚生省も道庁も詳しく教えてもらえませんでした。そんな中、靖国神社の祭神からわかったのがマーシャル方面遺族会でした。マーシャルで親が戦死して、沖繩で子供が戦死した、その沖繩に慰霊と遺骨収集に行ってきた翌年の事でした。いつかはマーシャルで現地慰霊と遺骨収集に参加したいと願って会員にさせてもらいましたが、若い頃からの不摂生が祟り、平成27年8月30日脳梗塞で倒れ、そのまま入院生活を送り今日にいたっております。昨年、一昨年と二回欠礼し、今年はどうしても参加したく庄内空港から始発の飛行機に乗り、久しぶりの靖国神社へ。少し遅刻しましたが総会に参加出来ました。会場に入ってビックリ！初めての顔、顔、それも私よりも若い世代の参加者が多く、驚くやら有難いやら安堵感で胸がいっぱいにな

りました。よその遺族会が軒並み高齢のため活動を終えている昨今、当会はそれほど若い方々が増えたことは誠に喜ばしく、安心して次の世代に継いでいける事を感じました。毎年参加している鶴岡市遺族会主催の慰霊祭も毎年参列者が減ってきています。

来年も是非慰霊祭・直会旅行にも必ず参加して再会を喜びたいと存じます。

私は現在鶴岡市の田舎で暮らしています。どうぞお出かけ下さい。皆様のご来訪をお待ちしております。

最後に、全国の会員の皆様方にも車いす生活をされている方もいらっしやるかと思えます。今は飛行機や電車は事前に連絡しておけば親切に扱って貰えます。また靖国神社も玄関から拜殿本殿へと移動ができ、大変有難い時代です。車いす生活になって行動範囲が狭まっている方々、何の遠慮もありません、健常者と同じくらい行動範囲が広がります、それが健康寿命を延ばす始まりです。どこへでも利用されるようお奨めします。

この会を3年でここまで盛会に運んでくれた高林会長はじめ、役員の皆様のご

苦勞に深甚な謝意を申し上げます。ありがとうございました。

直会旅行の思い出

安藤としえ(宮城県多賀城市)

今年も靖国神社参拝の時期がやって来ました。亡き姉、山森久枝がクエゼリン島で戦死した兄の事を調べてくれたおかげで毎年私も亡き兄に会えます。それに遺族会で親しいお友達にも会えますから。

今年箱根周遊旅行。以前2回ほど行ったことがあります。ケープブルカーとロープウェイを乗り継ぎ、大涌谷に行くのは初めてなので、行く前から楽しみに待っていました。テレビでは見えますが、実際に見ると雄大でどこまでも広がる岩山の隙間から硫黄が立ち込める所を見て感動しました。こんな場所もあるんだとビックリ！ 芦ノ湖では豪華な海賊船でゆったりとした船室でくつろぎ、湖面を渡る心地良い風が頬をよぎり、湖上から眺める山々の木々は新芽が芽吹き、新緑の美しさに身も心も洗われま

した。

時間の経つのも忘れ気分もゆっくりと出来る旅でした。本音を言えばもう少し船に乗っていたい気分でした。



会長さん清水さんご苦勞様でした。ありがとうございました。こうして毎年靖国に行けるのも気分良く送り出してくれる主人のお陰です。あらためて感謝しています。鈴木友季子さん、佐藤知子さんには色々とお世話になって挨拶もせず帰ってしまい申し訳ありませんでした。

スケジュール的には大変でしたが、天気
に恵まれ楽しい旅が出来ました。

ご一緒下さった皆様ありがとうございました。
また来年も元気で会いしま
しょう。



マーシヤル諸島慰霊 友好親善訪問記

岡村勝利

日本遺族会主催のマーシヤル・ギル
バート諸島慰霊友好親善訪問団の結団式
は3月10日出発に先立ち、靖国神社、靖

国会館で行われた。天気は肌寒く、桜の
蕾もまだ固いと思われた。

今回のメンバーは遺族11名(付添1名含
む)合計で13名。

- 団長 山下裕子氏
- 副団長 小松 望氏
- クエゼリン島・石澤洋子氏・佐藤隆
一氏・佐藤知子氏・高林芳夫氏・小
林ヨシ子氏
- ルオット島・佐藤正信氏・宮崎遼一
氏・大山節子氏
- ウオツゼ島・岡村勝利
- ヤルト島・金子晴佳氏
- 日本旅行添乗員・梅野由美氏

団員の紹介後、昇殿参拝し、神門前で
集合写真を撮り、バスで前泊する成田へ
移動した。

2日目は経由地のグアムに一泊。出発
時は冬の服装のため、当地まで来ると汗
ばむくらいになる。

3日目グアムを早朝出発、服装はすつ
かり夏の装い。クエゼリン到着は18時頃
だった。私事だが、島ごとに空港に一旦
降りるのだが、ポナペ空港では喫煙場所

が全然ないため閉口した。今回の参加者
で喫煙者は小松副団長と私の二人。一人
でなかったのが心強く感じた。クエゼリ
ン空港では、全島米軍施設の関係で通関
時全員のスーツケースおよび手荷物すべ
て所定の場所に置き、麻薬犬2頭で交互
にチェックが行われた。前回訪問時は犬
によるチェックはなかった。

4日目午後、クエゼリンの慰霊碑で慰
霊祭を行う。天気は雨交じりの曇り空。
基地側の配慮でテントが設置され、椅子



イバイ慰霊祭



ウオッセ慰霊祭

も準備されていた。当地区は5名で、石澤、佐藤隆一、佐藤和子、高林、小林各氏。追悼文の奏上と焼香で英霊の冥福を祈る。基地司令官ほか3名と日本大使および大使館員が参列し、焼香を行う。

5日目、ルオット島の慰霊祭が不可のため、イバイ島で行うことに変更。船で移動、ルオット島の方角に祭壇を設置し、慰霊祭を行う。当地区は佐藤正信、宮崎、大山各氏。

6日目ウオッセは岡村、ヤルートは金子氏、各島へ飛行場移動、祭壇を設置し慰霊祭を行う。ウオッセに出発するまでマジュロ空港で約2時間待機していたため、駆け足の慰霊祭となった。

7日目マジュロ市内の小学校、病院を訪問、団員が持参した学用品や車いすを贈呈し、友好を深めた。小学校ではヤシの記念植樹を行った。

8日目マジュロ平和公園の「東太平洋戦没者の碑」で追悼式を行った。マジュロ滞在中は天候不順で雨模様が多かった。マジュロの最終日現地の高校生とお世話になった光岡英行大使および大使館スタッフと懇親会を行った。3月17日全行程が終了し、グアムに向けて出発の予定がグアム方面の荒天候により、急遽飛行機が欠航となり、マジュロに一泊延長となった。亡き父が涙雨で引き止めたのではないかと……。予定より一日遅れで3月19日、無事に成田に到着。解団式の後、別れを惜しみながら帰路についた。今回皆さん年齢を感じさせないほど元気に行動された。団長ほか団員の皆様お世話になりました。尚、文中に記憶違い

があるかもしれませんが、平にご容赦のほど。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼

5月28日、当会より高林芳夫・米林義昭・米林美智子・星野綾子・内海淑子、5名が出席しました。

寄付者ご芳名 順不同・敬称略

※印は一万元以上の方

名誉会長 朝香誠彦※ 相談役 大給乗龍※ 井上賀雄※ 北海道 岩川あい
青森県 須藤明子・岩手県 佐藤享三・宮城県 安藤としえ・佐藤 勉 福島県 富田キミ※・古市キノ・根本さとみ・遠藤貞顕・酒井則夫 東京都 安細和彦・山口良二・内海淑子※・米林義昭・番場信子※・中村順子・山田二美・鈴木千春・間々田征史・石神康亘・千田啓子・福永弥生・高坂和靖 埼玉県 佐藤知子・吉原利美・鈴木裕子・小室洋子・小野博孝・高林芳夫※・齊藤玲子・長屋綾子・橋本 強・天野好子・諸橋恒一 千

葉県 相川孝夫・東 邦義・廣原 實・
 泉水堯恵・吉野宏美・腰川妙子 神奈川
 県 鈴木友季子・石澤洋子・上田文子・
 榎本益明・岡野智津子・糺谷友孝 茨城
 県 神永栄子・鈴木やよい 栃木県 菊
 地彦亘・岡村勝利・猪瀬康夫※ 長野県
 小林英雄・山梨県 黒川正文・新潟県
 山田昭雄・石丸 進・本保美恵子・高橋
 梅子 富山県 廣島富子・石川県 河崎
 仁衛・木村久子 岐阜県 吉田正明・堀
 尾洋平・静岡県 大畑幸夫・愛知県 浜
 田芳枝・和歌山県 福井敬眞・広島県
 奥井禮子・瀬戸隆子・山口県 郡 義
 典・愛媛県 山村一郎・渡部 守・長岡
 俊夫・香川県 富田佳代子・高知県 西
 岡純一・藤田洋子・橋本勝彦※ 福岡県
 吉松貞子※・平田郁子・長崎県 山下夕
 エ 沖縄県 宮城勇

以上82名の方より、合計34万4500

円のご寄付をいただきました。

誠にありがとうございました。



新入会員のご紹介 (敬称略)

●1月〜5月ご入会()は戦没者との
 続柄

千葉県 吉野宏美(子) 埼玉県 齊藤玲
 子(孫)・長屋綾子(孫) 東京都 沖本
 亜由子(孫) 長崎県 宮崎遼一(子) 鹿
 児島県 大山節子(子) 長野県 小林英
 雄(子)

ご入会ありがとうございます。

■会員の 大井和子様(埼玉県) よりご提
 供いただき、宮内庁主催、平成29年度の
 「歌会始」に応募されました作品をご紹
 介いたします。

娘ら五人父に託され慰霊
 每語りて母は百歳で逝く

5人姉妹の末っ子である大井さんは、
 ウオツゼ島で戦没したお父様の顔を憶え
 ていません。大井さんのお母様は戦後、

娘5人を育て上げました。百歳で亡くな
 るまで、いつも世のため人のために尽く
 した人だったそうです。苦難に向き合
 い、人生を立派に生き抜いた母への尊敬
 の思いが作品に込められています。

書籍紹介

『消えゆく太平洋戦争の戦跡』

1800円(税別) 山川出版社



2017/7/7 発売

太平洋の島々、東南アジアに残る戦争
 遺跡の多くが消滅の危機にある。各地の
 戦跡の現状をカラー写真で紹介。
 マーシャル諸島のページでは、イミジ
 島とウオツゼ島の戦跡が紹介されていま
 す。



第55回 マーシャル方面連族会慰霊祭 平成30年4月1日 於 靖国神社